

祝 正上内祭礼20周年記念



正上内10周年記念 常陸國総社宮大祭 平成10年9月15日

正上内祭礼20周年記念式典

平成20年9月13日(土) 午前9時～
ちびっこ広場

- 1 開 会
- 2 正上内区長あいさつ
- 3 祭礼部長あいさつ
- 4 来賓あいさつ
- 5 感謝状及び記念品贈呈
- 6 閉 会

- 記念写真撮影
- 獅子舞・お囃子披露

※正上内区民全員で20周年のお祝いを行いたいと思いますので、式典に是非足をお運びください。なお、式典終了後記念写真(大人・子供)の撮影を行います。詳しくは、裏面の日程をご覧ください。

20周年を祝して

正上内祭礼部役員一同

月日の経つのは早いもので、正上内が平成元年に「石岡のおまつり」に初めて参加してから、今年で20年を迎えることになりました。

ここまで来られたのも、一重に正上内区民の皆様方の絶大なるご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

20数年前を振り返ると、当時正上内の子どもたちは自町内に獅子がないため、石岡のおまつりに参加したいときは、他町内においてお願いして肩身の狭い思いをしながら参加しておりました。正上内にもおまつりがあればという思いは、子どもたちばかりでなくその親も感じておりました。

こうしたことから、当時杉並小学校区で活動していたソフトボールチームのメンバーが中心となり、おまつり参加の機運が盛り上がってきました。おまつりに参加する1年前から毎週のようにメンバーが集まり、手探りの状況のなか、ああでもない、こうでもない議論を交わしながら着々と準備を進めてきました。



しかし、おまつりへの参加は、正上内区民のすべての賛同を得ることはできず、やむを得ず賛同者による「正上内祭礼委員会」を立ち上げ、平成元年からの参加にこぎつけました。また、2年目からはこの祭礼委員会が中心となり盆踊り大会を開催することになりました。今思えば、これまで正上内区民が集う催しがこれといってなかったため、おまつり及び盆踊り大会の開催は、区民の親睦融和を図るのいうってつけの行事ではなかったかと思えます。これらの行事を通して、今まで知らなかった方々と親交を深めてきた方も多いはずで。

このような活動を継続してきたことにより、6年目には、正上内区としての参加が認められ「正上内祭礼部」が中心となり全区内を挙げてのおまつりとなりました。

昨今、日本人の心、古き良き伝統が失われようとしています。私たちが祖先から受け継いだ行事は、きちっと後世に伝えていくことが大切であると同時に、地域のコミュニティの場として残していくことも必要ではないかと思えます。

正上内のおまつりも20周年を迎えましたが、これからも30年、40年と継続していかなければなりません。おまつりの運営の仕方や後継者の育成等課題はたくさんありますが、これらの課題を解決しながら、子どもたちの笑顔と明るい声が響き渡る、楽しい正上内のおまつりが続けられるよう役員一同頑張っている所存です。

これからも正上内区民の皆様には、引き続きご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後に、20周年記念事業を行うにあたり、20周年記念事業実行委員会の委員を始め、格別のご協力とご指導を賜った関係各位に対し、心から御礼申し上げます。

地域力を培った20年

前正上内区長 小松崎 誠 志

20周年を迎え、まことにおめでとうございます。

発足までの、先人のご苦勞にあらためて敬意を表します。

「継続は力なり」と言います。正上内区民の協力と理解が力となって、なし得た快挙と申せましょう。「おまつり」は、ただおまつりではなく、コミュニティの場として大きな意義を持つものであったと存じます。

このような活動が地域力となって、災害の備え・復興・安心安全へとつながることになるでしょう。

20周年を新たなスタートに「地域力を高める20年」の節目となりますよう祈念いたします。

20周年を祝して

元正上内区長 石 毛 弘

「石岡のおまつり」参加20周年まことにおめでとうございます。

ここまでこられたのも有志の皆さんの並々な情熱と活動、さらに区民の皆様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。

運営に当たっては、綿密な計画と実行によって、常に楽しく安全なおまつりに心がけていただき敬意と賞賛の思いです。参加する子供たちも嬉しさと楽しさと喜びで一杯でした。

また、高齢者の方々も毎年、子供達による敬老獅子舞や石岡ばやしの演技を間近に見ることができ、このような細やかな心遣いに感激しております。

これからも正上内地区の伝統として、永く参加されますことを心からお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

正上内祭礼年表

	年 号	祭礼委員会	運営部長	年番町	備 考
	昭和63年	細谷 民夫		幸 町	正上内地区祭礼推進委員会発足
1年目	平成元年	細谷 民夫		国分町	正上内祭礼委員会発足 (5/28)
2年目	平成2年	細谷 民夫		中 町	第1回盆踊り大会開催
3年目	平成3年	細谷 民夫		若松町	第2回盆踊り大会開催
4年目	平成4年	細谷 民夫		泉 町	第3回盆踊り大会開催
5年目	平成5年	細谷 民夫		香丸町	第4回盆踊り大会開催
6年目	平成6年	濱 章	細谷 民夫	守木町	第5回盆踊り大会開催
7年目	平成7年	濱 章	細谷 民夫	大小路町	第6回盆踊り大会開催
8年目	平成8年	白井 吉平	細谷 民夫	土橋町	第7回盆踊り大会開催
9年目	平成9年	石毛 弘	細谷 民夫	金丸町	第8回盆踊り大会開催
10年目	平成10年	石毛 弘	細谷 民夫	守横町	第9回盆踊り大会開催
11年目	平成11年	石毛 弘	谷口 司郎	富田町	第10回夏祭り開催
12年目	平成12年	石毛 弘	谷口 司郎	仲之内町	第11回夏祭り開催
13年目	平成13年	石毛 弘	谷口 司郎	宮下町	第12回夏祭り開催
14年目	平成14年	小松崎誠志	谷口 司郎	青木町	第13回夏祭り開催
15年目	平成15年	小松崎誠志	谷口 司郎	幸 町	第14回夏祭り開催
16年目	平成16年	小松崎誠志	谷口 司郎	国分町	
17年目	平成17年	小松崎誠志	谷口 司郎	中 町	
18年目	平成18年	小松崎誠志	小野瀬利克	若松町	
19年目	平成19年	小松崎誠志	小野瀬利克	泉 町	
20年目	平成20年	高野 一男	小野瀬利克	香丸町	

おまつりグラフィティー10年前にタイムスリップー



ベテラン職人による獅子屋台づくり



仕上げは獅子頭の取り付けです



正上内若妻会？のみなさんです



正上内の世話人が勢ぞろい



威勢よく市内を練り歩く正上内の獅子

おまつりグラフィティー10年前にタイムスリップー



10年前は敬老獅子舞も会所でやっていました



みんな輪になって踊りましょう！（盆踊り大会）



焼き鳥，焼きそば，ヨーヨー，綿あめ，金魚すくい……出店がいっぱい！

〈正上内〉の地名と歴史について

前副区長兼会計 高崎 喜一

現在、正上内にお住まいの皆様の中にも、〈正上内〉という地名に、少なからずの疑問をお持ちの方も多いと思います。

私も正上内に生まれ育った者の一人として、以前からこの奇妙な地名に関心を寄せておりました。歴史書などから調べてみると正上内の地名の由来は、二つの説があるように思われ、今回恥を忍んで私なりにできる範囲内で調べた結果を紹介させていただきます。

説その1 転訛説 小掾屋敷内→小掾内→正上内

「新編将門地誌三」（赤城宗徳著）によると、今から1069年前の西暦939年頃、現在の正上内付近は、北側の防衛上の弱点を補うために置かれた常陸国府の北方の防衛の拠点ではなかったかと推測し、当時の兵力相当の常陸小掾（小掾は、当時の地方役人の役職で現在でいう課長クラス程度）が、相当の兵力を率いて駐屯していたと想定されるとしています。そして、このあたりから国府への間は、一面の平坦地で兵類を居住させ、これを訓練するのに適当な土地であったろうとも言っています。

そして、このとき国府側の北方部隊を束ねていた、常陸小掾藤原玄茂が平将門側に寝返ったこともあって、国府側は大敗を喫し、石岡は町の大半を焼失、このとき将門によって朝廷の支配の証である国府の印璽（印鑑）を奪われてしまいました。

この事件によって、将門は反逆者の烙印を押されることとなり、将門の乱（承平の乱）と称される朝廷に対する反乱の口火は切られ、太平の世を震撼させる大事件へと発展していったのでした。

その寝返った常陸小掾藤原玄茂の屋敷が、現在の正上内台市営住宅の北側付近にあり、その屋敷内に守護神として十二所権現神社が祀られており、これが現在の正上内権現神社ではないかと思われます。

そして、〈小掾屋敷内〉が〈小掾内〉に、そして〈正上内〉に転訛したものではないかとしているのです。



※新編将門地誌三 P189 より（現在の大谷橋付近）

説その2 土地の歴史的支配と地理的要因説 正内の高い部分

「石岡府中部落地名考證」（深谷重雄著）によると、この地には（正上内が「ショウジョジ」と発音されることをうけて）寺があったような跡もなく、神社としても目立つものもないが、（現存する「権現さま」に関連して）昔、ある家の氏神を村人たちが権現さまとして祀り、これを村の鎮守としたのではないかと考えられるが、どちらにしても、正上内の地名の由来には関係なさそうであると言っています。

ある地名の本によれば、正という字は庄（庄とは、荘園の略）の簡字化であろうという説があ

るので、庄の内の高い部分という意味で、〈正上内〉としたのではないかと考えられる。しかし、庄内（荘園内）ということならば、だれの荘園だったかということが問題になるが、これは不明であり、この部分の地名の由来は依然わからない。

この説では、いろいろ正上内という地名から連想されることや言い伝えなどから、地名の由来を解釈してみようと試みても結局不明であると結論付けられており、はなはだ消化不良の感が残ります。

追記 古文書からみる正上内の歴史

石岡市が所有する史料にも古くから〈正上内〉の地名は出現しており、ここからも歴史ある地名だということがわかります。

正上内は西暦1657年（明暦3年＝江戸で起きた振袖火事（明暦の大火）と同年）には、すでに地名として出現しています。少なくとも今から351年前には、〈正上内〉という地名が存在していたのです。

また、元禄13年（西暦1700年、忠臣蔵の討ち入りは元禄15年）には、正上内新田開発の覚書が残されており、家数10軒、人数38人（うち男23人、女15人）の記述もみえます。

300年以上も前からこの地に住まい、新田開発に汗を流した人たちが実際に存在していたという歴史的事実は、なにか感慨深いものがあります。

以上が、私が今までに調べた正上内の地名に関するものです。〈正上内〉という地名は、謎だらけの地名ですが、歴史ある由緒正しい地名であることを次世代に残すのも、われわれ現在正上内に住む者の使命ではないかと考えています。

私は、引き続き正上内の地名の由来について調べていくつもりですが、区民の皆様の中に正上内の由来や関連するお話をご存知の方がおられましたら、ぜひともお知らせいただきたいと思います。お待ちしております。

なんと江戸時代にも正上内はおまつりに参加していた！

石岡市史（下巻）によると、江戸時代「府中」の町では旧暦の6月14日に祇園まつりが、7月2日には愛宕社の祭礼が行われていたようです。祇園祭は各町から風流物を出して練り歩くおまつりで、現在の常陸総社宮例祭のルーツになっている。当時の出し物の行列の順序を示した次のような記事がある。

- 一番 ささら（富田） ・ 二番 やたいおどり（中町） ・ 三番 子供おどり（香丸）
- 四番 子供おどり（森木） ・ 五番 みろく（木之地） ・ 六番 ふし（泉町）
- 七番 田打おどり（幸町） ・ 八番 ほうさい（青木） ・ 九番 かたかた（若松）
- 十番 ほろ（中之内） ・ 十一番 人ささら（金丸）

また、明和年間の祇園まつりと同じ年の場合、愛宕社の祭礼には、次のような風流物が繰り出している。

- 一番 ささら（富田・守横町） ・ 二番 俵付馬（正上内） ・ 三番 同断（岩城内・小目台）
- 四番 同断（土橋） ・ 五番 塩くみせいけん笠（香丸） ・ 六番 子供おどり（森木）

残念ながら記事はここまでで切れてしまっているが、富田町のささらがここでも先頭であることと、愛宕社の祭礼には町の外周部の地域からも参加していることが注目される。

本年度祭礼の日程等

本年度の祭礼は、下記のとおり実施いたしますので、正上内区の皆様方のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 3日間の日程について

13日(土) 神幸祭		14日(日) 大祭		15日(月) 還幸祭	
8:00	会所集合	8:30	会所集合	8:30	会所集合
9:00	20周年記念式典	9:00	町内巡行(1・4部)	9:00	町内巡行(2・3・5・6部)
9:30	記念写真撮影	11:30	敬老獅子舞	12:00	会所～御仮殿
11:30	会所～総社宮	13:00	会所～駅前通り	14:00	御仮殿～総社宮
14:00	総社宮～御仮殿	15:00	獅子舞パレード参加		総社宮～市内巡行
17:00	常陸石油GS(夕食)	17:00	常陸石油GS(夕食)	17:00	常陸石油GS(夕食)
18:00	市内巡行	18:00	市内巡行	18:00	市内巡行
20:30	市内～会所	20:30	市内～会所	20:30	市内～会所
21:30	会所着	21:30	会所着	21:30	会所着

■当日の天候や巡行状況等により変更となる場合があります。

■本年度は初日(13日)に20周年記念式典を開催する関係上、2・3・5・6部方面への獅子の巡行は最終日(15日)となります。

■初日の式典終了後、大人と子供に分かれて記念写真を撮影しますので、午前9時にはちびっ子広場に集合してください。(雨天決行)

■記念写真購入希望者は、撮影後会所受付で申込書に氏名等を記入し、写真代(1枚1,000円)を添えて申し込んでください。記念写真は約2週間後に配布します。

2 獅子飾り付け・会所準備について

9月7日(日)午前8時からちびっ子広場で行いますので、ご協力願います。

3 会所後片付けについて

9月16日(火)及び9月20日(土)午前8時からちびっ子広場で行いますので、ご協力願います。

4 笠抜きについて

9月20日(土)午後6時30分から花むらで行います。

5 注意事項

- ① 例年午前中の大人の参加者が少なく町内巡行に苦慮しておりますので、指定時間どおりにご集合願います。
- ② 小学校3年生以下の方は、保護者と一緒に参加してください。
- ③ 3日間とも正上内会所到着が午後9時から9時半頃となるため、夜間の子供の参加については、保護者において健康状態、事故等に十分注意を払ってください。なお、午後7時以降の小学生の参加は、保護者同伴としてください。(保護者は子供から目を離さないでください。)